

第123回ヒャーリクス開催

6月17日(日)、ヒャーリクスが開催されました。前日までの悪天候で開催が心配されましたが、当日は次第に天候が回復し、オハルズの神様が見方をしてくれたかのような好天の中、くり舟競争が行われました。

御願バーリーで幕を開けた後、青年分団別競争、女性分団別競争、ムトゥのウヤ競争とくり舟競争が続きました。池間小中学生による水中リレー、船



発行者
NPO 法人いけま福祉支援センター
電話：75-2870

上綱引き、えさまきと子どもたちのお



楽しみプログラムも盛りだくさん。その後の職域くり舟競争には21チームがエントリーし、熱戦が繰り広げられました。午後からは、水浜広場にて相撲大会が開催され、多くの人出でにぎわいました。

池間自治会総会

6月3日(日)、池間自治会総会が開催されました。平成29年度の事業報告・会計報告に続き、今年度の事業計画・予算計画が審議され、承認されました。その他、池間どうぐぬすま憲章制定の経緯・目的の説明や、字有地の管理を適切に行う目的で、一周道路より海側の字有地を一括してNPOに賃貸することなどの説明が行われ、すべて承認されました。最後に、池間島の発展に貢献した人に対して表彰が行われました。

▼表彰されたのは次の7名のみなさんです。伊良波スミ子さん、仲間タイ子さん、仲間喜美子さん、川上郁子さん、川上重幸さん、譜久村仁さん、芝原晋さん。



トゥイヤーでは現在、本土企業の保養所建設のため、重機を入れて伐開・整地作業が行われており、赤土の流出が懸念されています。トゥイヤーではウミガメの産卵も確認されています。



インアスゥー大運動会 開催～うるま市の小学 生が民泊で来島～

6月6日～8日の日程で、うるま市立城前小学校の5年生7校の2名が来島し、

民泊で島の暮らしを体験しました。初日は、班ごとに集落を歩いて宿泊先の民家を目指すウォークラリーを行いました。防災センターや大主神社など、チェックポイントを探し、島民のみなさんに道順を尋ねながら島内をまわりました。

2日目は、水浜にて「インアスゥー大運動会」が行われました。インアスゥー運動会では、泳ぎやウサギナン、綱くぐりや、海水を頭の上にカミで走る水力ミ競争など、池間島らしい種目を盛り込んで

だりレーを行い、城前小学校の児童と、池間小学校の子どもたちが一緒に参加して楽しみました。

競技の後は、船の上からお菓子をばらばくえさまきが行われました。ヒャーリクスでもおなじみのお楽しみイベントですが、来島したうるま市の子どもたちも、両手に抱えきれないほどのお菓子を集めて楽しんでいただけです。応援に駆けつけてくださった地域の方々も多く、とても実りのあるイベントになりました。ご協力くださった皆様、応援に来てくださった皆様、ありがとうございました。

おしらせ

長年池間地区の民生委員を務めてきた波平三郎さんに代わり、7月からは小祿有子さんが民生委員として活躍されます。

シマ学校くアダンを食べよう

5月24日、「アダンを食べよう」をテーマに生き生き教室のオバアたちと池間小学校3年生く6年生が参加してシマ学校が行われました。池間小



の子どもたちとおばあちが数日前に収穫したアダンの実と葉の根本部分を使って、アダンのバスとなまり節の煮物、アダンの新芽と三枚肉の炒め



煮を作りました。

よく熟れたアダンのバスは、昔の池間の子どもたちにとってオヤツでもあり、まだ少し硬いものは野菜として調理され食卓に出ていたものです。池間の人々にとってなじみの深いアダンのバスですが、薄く切ってから、

油で炒める、水から煮る、というふたつの方法で調理してみました。アダンの新芽は、八重山地方では食べられていたと言いますが、池間島では新芽を食べたというお話は聞いたことがありませんでした。そこで、去年開催されたアダンサミットで石垣島の方から習った方法で、収穫してきた新芽を水で何度もゆでてあくを抜き、調理してみました。新芽料理は、あく抜きがうまくいかず、口のなかにピリピリとした後味が残る結果となりました。美味しくいただきましたが、参加した子供たちからは、「また作ってみたい」という感想が聞かれました。

来月の予定

- ▼8日(日) 池間小中学校海の体験学習
- ▼12日(木) シマ学校
- ▼21日～22日 島あっち